

## 【2023年第16号】

# 東莞—香港空港センターについて

2023年11月13日

田 甜 TIAN TIAN, MICHELLE

香港法人営業部  
アドバイザー室

T +852-2821-3783

E MICHELLE\_T\_TIAN@HK.MUFG.JP

株式会社 三菱 UFJ 銀行  
MUFG Bank, Ltd.  
(Incorporated in Japan with limited liability)  
A member of MUFG, a global financial group

香港空港管理局 (Airport Authority Hong Kong 以下、AAHK) は、東莞・香港間の海空複合輸送を実現するための物流パークである「東莞—香港国際空港センター」(以下、東莞空港センター)を本年4月に東莞港に開設した。所轄機関の黄埔税関<sup>1</sup>によると、4月18日の東莞空港センターの運用開始以来、累計輸入輸出航行回数は1,100回を超え、重量は約1,160トン、貨物価値は5.2億元を超えた。また、10月末で253社の企業が東莞空港センターを通じて輸出入を実施、運用開始の初月に記録された52社から4.9倍に増加した<sup>2</sup>。本稿では、東莞空港センターの仕組みと今後の展望を紹介したい。

### 1. 初めての海空複合輸送スキーム

東莞空港センターはAAHKが川上物流を受託するために東莞市の東莞港に開設した香港国際物流パークを指す。また、東莞空港センターの設置に合わせ、AAHKは香港国際空港に「エアサイドカーゴターミナル」を開設した。貨物を海外へ輸出する場合、東莞空港センターでは、中国本土の輸出貨物が東莞空港センターにて事前にセキュリティーチェックを受けた後パレタイズ(積載)され、専用船によりシームレスに香港側のエアサイドカーゴターミナルまで運搬され、香港にて改めてセキュリティー手続きを受けることなく直接香港国際航空ネットワークを利用して海外に再輸送することができる仕組みとなっている。また、海外から輸入の場合、香港空港エアサイ



出所:アドバイザー室作成

<sup>1</sup> 東莞市の税関の管轄機関は黄埔税関である。

<sup>2</sup> 出所:『東莞日報 2023年10月19日 A05版』

に直接移送してセキュリティーチェックおよび申告し、貨物の分解と分配作業を東莞空港センターにて行う仕組みとなっている。東莞空港センターは世界初の海空複合輸送のための物流センターであり、香港エアサイドカーゴターミナルとの一体的運用により世界初の海空複合輸送スキームが構築されている。

## 2. 東莞空港センターの開発経緯

東莞空港センターが繋ぐ二つの都市、東莞と香港は、中国経済において重要な役割を果たしている。東莞は開放型経済都市であり、海外貿易への依存度<sup>3</sup>が国内で最も高く、その比率は 124%に達している。現在、東莞には貿易企業が 2 万社近くあり、全世界 230 以上の国と地域と貨物貿易を行っている<sup>4</sup>。近年、産業の転換が加速し、東莞の輸出入額の約 50%が高付加価値の機械電子製品となり、企業の航空輸送需要が増加している。そのような背景のもと、東莞では航空輸送サービス体系の改善と輸出入のトータルボリュームの拡大が物流面での一つの課題であった。一方、香港は便利な国際空輸ネットワークを有し、世界最大の航空貨物輸送量を誇る空輸中継ハブであるという強みを持つ。東莞空港センターは広東・香港・マカオグレーターベイエリア (GBA)<sup>5</sup>の電子製造業などの高付加価値産業の航空輸送に対する需給ひっ迫の対応策として、東莞と香港の両政府の支援の下、両者の優位性を活かした協力を模索する形で開発が開始された。

2020 年 7 月に、東莞市政府と AAHK は東莞空港センターの共同建設について協力覚書を締結した。続いて広東省政府と香港特別行政区政府が 2020 年 10 月に共同で公表した「2020 年の広東・香港協力枠組み協定の実施に関する重点業務」では、東莞空港センターの開発が GBA の建設を推進する上での重点業務に含まれている。

東莞空港センターの発展計画によると、当該センターは 2 つのフェーズで推進される計画となっている。第 1 フェーズとして、東莞港の百興物流センターが選定されており、実施期間は 2022 年から 2025 年である。この段階では、百興物流センターの 20 ヘクタールの土地を活用し、香港空港エアサイドカーゴターミナルの通関、セキュリティー検査、積載 (パレタイズ)、貨物受け入れなどのコア業務を前もって東莞空港で実施するようにする。完成後の年間貨物処理能力は 100 万トンを超えることになる。

第 2 フェーズは長期的計画となり、選定されたエリアは東莞港に隣接した 55 ヘクタールの土地である。東莞港を管理する東莞港務集団と AAHK が協力して、インテリジェントな航空貨物ターミナル、高付加価値の物流センター、近代的な国際エクスプレス倉庫、および高効率のフレイトフォワード倉庫を含む施設の建設と運営を行う。この一環として、貿易、研究開発、観光、展示会などを含む空港経済産業を形成し、2025 年初頭の施設完成・運用開始を目指す。

東莞空港センターの第 1 フェーズの関税監視通関や空港保安検査などのパイラインプロジェクトは 2021 年に完了した。本年 2 月には、東莞市政府と AAHK は正式に東莞空港センターの協力枠組み協定を締結、そして、4 月 18 日には、東莞空港センターの水路区監督作業場が正式に開始した。さらに、10 月 26 日、AAHK は東莞港務集団と共同出資で新会社を設立することを発表した<sup>6</sup>。東莞港務集団との合併契約に基づき、AAHK は東莞空港センターの計画、管理、運営を担当する全額出資の子会社を設立した<sup>7</sup>。

<sup>3</sup> 外貿依存度 (国際貿易依存度) は (輸出額 + 輸入額) / GDP で算出される。輸出入の総額が国内総生産 (GDP) を上回る場合は、100% を超えることもある。これは、その地域や国が国際貿易に依存していることを意味し、経済規模が小さい国や、東莞のように外国からの投資が多い地域によく見られるケースである。

<sup>4</sup> 2022 年度東莞市統計局のデータによる。

<sup>5</sup> 広東・香港・マカオグレーターベイエリアは広東・香港・マカオ大湾区とも言う。香港・マカオ・広東省珠江デルタの 9 都市から成る広東省珠江デルタの 9 都市は広州、深圳、珠海、佛山、東莞、中山、惠州、江門、肇慶である。

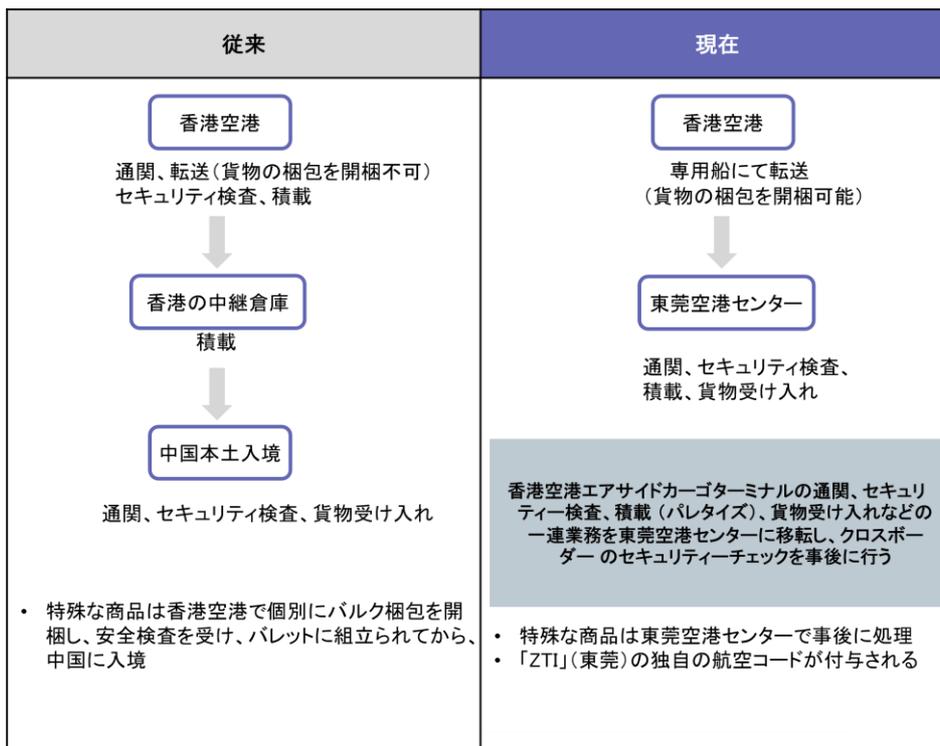
<sup>6</sup> 出所: [空港管理局、東莞港との複合輸送で新会社 - NNA ASIA・香港・運輸](#)

<sup>7</sup> 出所: [新聞稿、传媒中心-香港国际机场 \(hongkongairport.com\)](#)

### 3. 東莞空港センターの仕組み

香港国際空港を通じて海外から商品を輸入する場合を例として、東莞空港センターの仕組みを説明する。従前は、陸路を使用して香港国際空港から商品を輸入する方法をとっていた。プロセスとしては、香港空港から荷物を引き上げた後、香港の中継倉庫に運び、格納した後で入境する際に再度セキュリティ検査を受ける必要があった。しかし、東莞空港センターの設立により、企業が申告した輸出貨物は、東莞空港センターで「一元化」の関税通関手続きを行うことが可能になる。企業にとって、空港センターは物理的な空港ターミナルこそないものの「空港のロビー」のような存在であり、国際航空運送協会 (IATA) の統一運送基準に従い、「ZTI」(東莞)<sup>8</sup>の独自の航空コードが付与されている。これにより、企業は東莞を「目的地港」として国際航空物流を利用し、ビジネスの展開が可能となる。(左下の図は、香港国際空港を通じて海外から輸入する場合を例としたプロセスの比較である。)

また、香港空港エアサイドカーゴターミナルの通関、セキュリティ検査、積載(パレタイズ)、貨物受け入れなどの一連業務を東莞空港センターに移転し、クロスボーダーのセキュリティーチェックの事前実施が可能となる。ここには、4つの注目すべき点がある。1つ目は、新たな輸入貨物の申告方法を実現した点である。これまでの「先に申告、その後開梱」の流れから、「先に開梱、その後申告」へと進化した。具体的には、クロスボーダーで香港経由で中国へ輸入する場合、まず香港空港エアサイドカーゴターミナルにて輸入貨物の梱包を開梱し、その後専用船にて東莞空港センターに直接移送して申告し、貨物の分解と分配を行う。これにより、申告を待つ時間が大幅に短縮され、通関速度が大幅に向上する。2つ目は、特殊な商品に対して利便性の高い通関フローを実現している点である。特に、電子タバコについては、香港立法会と保健局と共同で迅速な通関チャネルが開設されており、従前からの専用車による輸送と空港でのバラ積み



香港国際空港経由輸入の例

出所: アドバイザリー室作成

検査のフローを改善し、東莞空港センターで事後に処理することが可能となった。3点目は、3つの巨大な貨物ターミナルが一元的に稼働し始めている点である。現時点では、香港の三大貨物ターミナル(香港航空貨物部、香港空運貨物ターミナル有限公司《Hactl》)、アジア空運貨物ターミナル《AAT》)がすべて東莞空港センターに進出し、世界40カ国の90の航空路線を網羅している。最後に、東莞空港センターは最新のデジタル化・自動化設備を導入している点が挙げられる。これには、無人運転

<sup>8</sup>「ZTI」はIATA(国際航空運送協会)の空港コードで、中国の東莞市を指す。IATAのコードは、全世界の空港を特定するアルファベット3字のコードで、フライトの運航、航空券の予約、航空貨物の運航などに使われる。

トラックと海空輸送互換のリフトバンの初導入が含まれ、これらによって東莞空港センターは物流効率と安全性の更なる向上が可能となる。

香港空港エアサイドカーゴターミナルでの一連業務を東莞空港センターに移転し、空港センターにてクロスボーダーのセキュリティーチェックを実施することは企業の物流コスト削減につながる。初期の統計によると、以前は東莞から深セン経由で香港空港に運搬する際の送料は約 4.1 元/キロだったが、空港センター経由に変更すると 2.9 元/キロに低下した<sup>9</sup>。

物流コストのみならず、時間コストの削減も可能だ。関連部署では、輸出貨物を東莞空港センターから香港空港に輸送する時間が、陸路輸送に比べて約 30%短縮されるという試算を行っている<sup>10</sup>。プロセスを短縮することで、東莞空港センターから輸出する貨物は、積み込みから香港空港への輸送までの全過程を 1 日未満で完了できるようになった。

#### 4. 日系企業のコストダウンに寄与

日本企業は過去 30 年以上にわたり、東莞の重要な経済・商業パートナーである。現在、東莞市には 394 社の日本企業が進出している<sup>11</sup>。これは、GBA、あるいは広東省全体に存在する日本企業の一部に過ぎない。広東省における多くの企業は、高付加価値商品の輸送ニーズが存在するため、東莞空港センターの設立は、日本企業も含め多くの企業のコストを削減し、物流効率の向上に大きく寄与することになる。GBA 内の多くの日本企業は、東莞空港センターによってもたらされる効率的なロジスティクスサービスを活用し、グローバル市場とのビジネス領域を一層拡大できるようになると言えよう。

#### 5. まとめ

東莞空港センターの開発は東莞と香港双方に利益をもたらす重要なプロジェクトである。東莞は GDP が全国 15 位の 1 兆人民元以上、人口が 1,000 万人以上の「超大型都市」となった。金融・物流センターである香港とは 1980 年代からの加工貿易を通して相互に補完し合いながら発展を遂げ、現在では中国屈指の先端製造業の集積地となっている。

東莞にとっては、本プロジェクトによって航空貨物施設を拡大し、不足している機能を補うことが可能だ。プロジェクトの発展に伴い、高度な産業の集積を促進し、大湾区の他の都市からの貨物を東莞に引き寄せる可能性があり、貿易ハブとしての東莞の地位を強化するのに役立つだろう。

東莞空港センターは東莞と香港の相互補完とリソースの共有を推進するだけでなく、香港が国際航空ハブおよび国際貿易センターとしての地位を強化することも促す。2023 年の李家超 (John Lee) 香港行政長官による施政報告では、香港が国際物流ハブを維持するための方策として東莞空港センターの建設に触れている<sup>12</sup>。本プロジェクトの推進により香港と GBA エリアとの物流面での結びつきがより強固となり、相互発展が加速すると言えよう。

今後の動向に引き続き注視していきたい。

以上

<sup>9</sup> 出所:『東莞日報 2023 年 10 月 19 日 A05 版』

<sup>10</sup> 出所: [空港管理局、東莞港との複合輸送で新会社 - NNA ASIA・香港・運輸](#)

<sup>11</sup> 出所:『東莞日報 2023 年 6 月 15 日 A04 版』

<sup>12</sup> 詳細は当室発行のニュースフォーカス【2023 年第 14 号】[香港 2023 年施政方針を発表](#)をご参照。

	発行日	タイトル
2023 年第 15 号	2023/11/1	<a href="#">広東省における製造業を重点とする外資の投資拡大促進に関する措置</a>
2023 年第 14 号	2023/10/30	<a href="#">香港 2023 年施政方針を公表</a>
2023 年第 13 号	2023/10/30	<a href="#">FSIE 制度の処分益スコープ拡大による税務条例改正</a>

当室が発行した過去のニュースフォーカスについて、以下のリンクよりご参照：

(日本語) [https://www.bk.mufg.jp/report/chi200402/Archive\\_JPN.pdf](https://www.bk.mufg.jp/report/chi200402/Archive_JPN.pdf)

(英語) [https://www.bk.mufg.jp/report/chi200402/Archive\\_ENG.pdf](https://www.bk.mufg.jp/report/chi200402/Archive_ENG.pdf)

- These materials have been prepared by MUFG Bank, Ltd. (“the Bank”) for information only. The Bank does not make any representation or warranty as to the accuracy, completeness or correctness of the information contained in this material.
- Neither the information nor the opinion expressed herein constitute or are to be construed as an offer, solicitation, advice or recommendation to buy or sell deposits, securities, futures, options or any other financial or investment products. The Bank [MUFG Bank] is a licensed bank regulated by the Hong Kong Monetary Authority and registered with the Securities and Futures Commission to carry out Type 1 and Type 4 regulated activities in Hong Kong.
- All views herein (including any statements and forecasts) are subject to change without notice, its accuracy is not guaranteed; it may be incomplete or condensed and it may not contain all material information concerning the parties referred to in this material. None of the Bank, its head office, branches, subsidiaries and affiliates is under any obligation to update these materials.
- The information contained herein has been obtained from sources the Bank believed to be reliable but the Bank does not make any representation or warranty nor accept any responsibility or liability as to its accuracy, timeliness, suitability, completeness or correctness. Therefore, the inclusion of the valuations, opinions, estimates, forecasts, ratings or risk assessments described in this material is not to be relied upon as a representation and / or warranty by the Bank. The Bank, its head office, branches, subsidiaries and affiliates and the information providers accept no liability whatsoever for any direct or indirect loss or damage of any kind arising out of the use of all or any part of these materials.
- Historical performance does not guarantee future performance. Any forecast of performance is not necessarily indicative of future or likely performance of any product mentioned in this material.
- The Bank retains copyright to this material and no part of this material may be reproduced or re-distributed without the written permission of the Bank and the Bank, its head office, branches, subsidiaries or affiliates accepts no liability whatsoever to any third parties resulting from such distribution or re-distribution.
- The recipient should obtain separate independent professional, legal, financial, tax, investment or other advice, as appropriate.

Copyright 2023 MUFG Bank, Ltd. All rights reserved.